



お元気ですか

第40号

第2回 健育会 チーム医療症例検討会



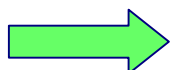
ホテル伊豆急にて 平成19年6月30日

近年の医療は、従来の「押し付け的」「施しの」医療から、患者さん自身の「回復力」「自己治癒力」を援助するような医療への転換が図られています。

患者さん一人一人に対するきめ細かい治療と支援がもとめられており、専門的な知識や技術を持った人達が終結し『チーム』で対応することで、患者さんの満足と早期回復につながり、治療にあたる側にとっては質の向上へとつながって行くものです。

この『チーム医療症例検討会』は、健育会のそれぞれの施設が『チーム医療』に積極的に取り組んでおり、その症例を発表しあい、意見交わし、今後につなげていく為のものです。発表は8演題行なわれ、当院からは2チームが発表し、その他に竹川病院、熱川温泉病院、石巻港湾病院、しおさい、ひまわり在宅事業部が日ごろの成果を発表しました。

当院の発表内容は次ページです



チーム医療症例検討会

【西伊豆病院チーム】



Ⅲ度の褥創治療にむけて のチームアプローチ

＜寝たきりからの生還
そして自力歩行＞



西伊豆病院
管理栄養士 鈴木 辰美
褥創委員会 土屋直美 磯谷理沙



ACLS委員会活動を通して チーム医療を考える



西伊豆ACLS委員会



85歳女性、たくさんの病気を抱えながら、左のお尻の所に深い褥創(床ずれ)のため入院された。食事摂取量の低下や歩行困難から、褥創の処置だけでなく、色々な面からのアプローチにより、良い効果が得られた症例を紹介します。

当院には、仲田院長を柱に褥創委員会があり、ラップ療法を導入しています。今回初めてⅢ度の褥創にラップ療法を試みました。加えて管理栄養士による栄養管理、医師・看護師・リハビリスタッフによるリハビリカンファレンス、排泄訓練から日常生活動作の向上と褥創への細菌感染予防・徐圧効果をもたらし、褥創が完治し、寝たきりの状態から、自力歩行により退院された。

今回の症例のように、あらゆる面からチームとなって活動していく事で大きな成果が得られた。この結果を活かし今後も褥創治療に貢献したい。

西伊豆病院では救急対応技術の向上の為、看護師だけでなく全職員に救急法の習得を進めており、さらに当院からの呼びかけに救急隊・近隣施設・近隣病院・ホテルなど職種を問わず全ての方が参加できる講習会を行ってきました。

救急患者さんを救うには、早い通報・そばにいる人の早い応急手当・早く病院へ運び・早く医師に診察してもらう という流れを地域で作っていく事だと考えています。

今回は、講習会に参加した者が実際に救急の場面に遭遇し、素早い対応ができ良い成果が得られた結果から、これからも、救急病院として地域の救命率の向上という目標に向け「日本一安全な観光地」を目指し「信頼される地域医療」を実現にむけ、住民の方も含めたチームとして救急対応の技術の向上と啓蒙活動に取り組んで行きたい。



検討会



積極的な意見交換がされ、それぞれの施設にたくさんの収穫となり、これからの参考となることでしょう。

アメリカ心臓学会公認 BLS講習会 の開催



当院では、院内の職員はもちろんの事、地域の方への救急法の講習を推進しており、ACLS委員会が中心となり活動しています。この活動が認められ、今回の講習会開催の運びとなりました。

アメリカ心臓学会公認のBLS講習会は、日本各地で開催されていますが、一番近くが「静岡中部サイト」であり、西伊豆地区で開催するのは初めての事でした。

BLS講習会の内容は、倒れている人を見つけて救急車が到着までの救急処置、また病院内で倒れている人を見つけた場合の救急処置を学びます。

倒れている人が 大人・子供・乳幼児 それぞれの場面を想定して行い、さらに、のどに食べ物をつまらせた場合の対処法なども実際に人形を使い体験しながら学習します。講習会は朝9時から夕方5時までみっちり行い、実技チェックと筆記試験も行なわれ、合格するとアメリカ心臓学会発行の認定証が発行されます。

参加者は、近隣病院の医師・看護師、消防士、学校の養護教諭、当院からも医師・看護師・検査技師が受講しました。



『 受講者の感想 』

アメリカ心臓学会の講習は、映像の中で行なう手技を見ながら、それに合わせてすすめていくものでした。今まで心臓マッサージ、マスク換気も行ってきましたが、いかにその手技の質が重要なのが分かり、良質なBLSがあってこそ、次のACLSにつなげられるのだと思いました。

BLSが重要である事を再確認でき、これからの業務に反映していきたいと思います。

看護師 須田麻里



こういった講習会に参加した方が、中心となり身近な人に伝えていけたら、救急の輪はどんどん広がり、西伊豆地区は「日本一安全な観光地」と言われるようになればいいと思います。

AHA(アメリカ心臓学会)の講習会は、来年も行う予定です。興味のある方は当院のACLS委員会へお問い合わせ下さい。また、当院職員による救急法の院内講習会も行なわれているので、地域の方も是非ご参加下さい。出張講習なども行ないます。

問い合わせ先

西伊豆病院 ACLS委員会

0558-52-2366(代)

知っていますか？

熱中症に御注意を！

熱中症は室内にいても起こります。

1 熱中症のメカニズム

体温上昇を防ぐために、わたしたちは

- ①皮膚の表面から空気中に熱を放散させること、
 - ②さらに汗をかくことで、汗が蒸発するときに熱を奪う働き(気化熱)を利用すること、
- この二つのしくみを主に利用しています。

体温より気温が高く、湿度が高い状況では、この仕組みが上手く働かず、体温が下がらないため、様々な不調がおこり、体温がグングン上昇してひどい場合は死に至ることもあります。熱中症は炎天下ばかりでなく、室内で静かにすごしている場合でも起こり得ます。

2 熱中症の分類

- 熱失神** 皮膚血管の拡張によって血圧が低下し、脳血流が減少しておこるもので、めまいや失神などがみられる。
- 熱痙攣(けいれん)** 大量に汗をかいたときに水だけしか補給しなかったため、血液の塩分濃度が不足して、足、腕、腹部の筋肉に痛みをともなった痙攣がおこる。
- 熱疲労** 脱水による症状で、倦怠感、脱力感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。体温は正常か高め。
- 熱射病** 体温の上昇によって中枢機能に異常を来した状態。意識障害(反応が鈍い、言動がおかしい、意識がない)などがおこり、死亡率が高い。

3 熱中症の予防

- 体調を整える** 睡眠不足や風邪ぎみなど、体調の悪いときは暑い日中の外出を控える。
- 暑さに慣らす** 熱中症は梅雨明けなど急に暑くなり、体が暑さに慣れていないときに多く発生します。暑さに慣れるまで、急激に運動したり長時間外出するのは控え、1週間くらいかけて徐々に体を慣らしましょう。
- こまめに水分補給する** のどがかわいたと思う前から定期的に少しずつ水分を補給する。汗と一緒に塩分が失われるため、0.1%~0.2%の塩水(水1Lに小スプーン1杯や梅干一個が目安)や、糖分も含まれたスポーツドリンクなどがよいでしょう。
- 服装に注意** 薄着や通気性のよい服を着て、外出時は帽子をかぶるようにする。
- 年齢を考慮する** 子どもや高齢者は調節能力が弱く特に注意が必要です。

熱中症が疑われたら、下記の応急処置を行い、改善がなければ速やかに受診しましょう。

- ・涼しい日陰やクーラーの効いた室内に移動し、衣類をゆるめて休めます。
- ・氷や冷たい水でぬらしたタオルを手足に当て体を冷やす。(霧吹きで体をぬらして風を送ると効果的です。)
- ・水分を補給する。(上記を参考にしてください。)

水分補給できない、意識障害など重症が疑われる時は迷わず救急車をよびましょう。



西伊豆病院 内科 西 浦

アナフィラキシーって聞いたことがありますか？



薬局だより

ハチに刺されて亡くなったり、そばを食べて呼吸困難になってしまったり…。これはアレルギー反応の一つで**アナフィラキシー**と呼ばれるもの。アナフィラキシーの治療は一刻を争います。**ハチに刺された後、食事の後、薬の服用後などにいつもと違う体の異常を感じたらすぐに医師に相談しましょう。**

アナフィラキシーってなに??

即時型（Ⅰ型）アレルギーの一つ。花粉症や気管支喘息などと同類。原因物質に接触あるいは摂取した後、アレルギーによる症状が体の複数の臓器や全身に現れる。重症の場合には呼吸困難や意識障害を起こし死に至ることもある。

原因物質（アレルゲン）

ハチ毒

ヒトを刺すのはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ



食物

卵、牛乳、小麦 他に大豆やエビ、カニ
そばやピーナツは重症化することがある

くすり

ペニシリン系抗生物質、アスピリン系解熱鎮痛剤、医療機関で使用する造影剤

ラテックス

天然ゴム製品



症状は...

じんましん、呼吸困難、腹痛、嘔吐、下痢など

ショック（→死に至ることがある）：喉の腫れや痛みを伴う気道閉塞、不整脈による心停止、重篤な酸素欠乏状態、血圧低下など

＊症状が現れる時間は原因物質によって異なり、ハチ毒では5～15分くらい、食物では30分～1時間くらい

＊数時間後に再び症状が現れることもあり、一度落ち着いたからといって油断してはいけない

アナフィラキシー対策

治療の前にまずは予防！！ ⇒ **原因物質の回避**
原因物質には近づかない！ 食べない！ 触れない！



これまでに
アナフィラキシーを経験したことがある方
その危険性が高いと予想される方は...



エピペン（自己注射用エピネフリン注射液）

携帯のすすめ

アナフィラキシーが発現した際、補助治療を目的とした**自己注射用製剤**
アナフィラキシーの初期症状が出てからショック症状が出るまでの間に使用
使用後は必ず医療機関を受診し、医師の診察を受ける

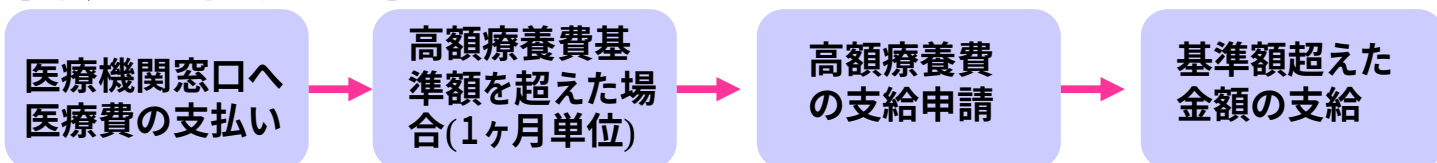
※あくまでも対症療法であり、アナフィラキシーを根本的に治療するものではありません。
＜保険は適用されません。自費（1万円位）となります。＞

70歳未満で入院される方へ

ご存知ですか？

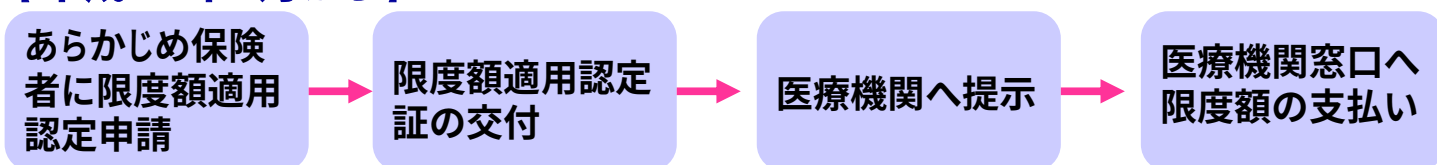
高額療養費の事は皆さん知っていますね！

【平成19年3月まで】



この様な流れで、高額診療費は支給され、いったん窓口で自己負担額を全て支払い、後日支給申請を行ってから支給されていました。

【平成19年4月から】

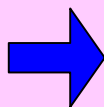


あらかじめ申請しておく事で支払いが楽にできます。申請先は国民健康保険の場合、お住まいの各市町村となります。是非ご利用下さい。

例として：70歳未満の方が、手術で入院し、医療費が約100万円 かったとします

【平成19年3月まで】

- ① 医療費の3割が自己負担なので、約30万円を病院へ支払います。
- ② 高額療養費の支給申請をします。
- ③ 高額療養費 約21万円 支給される。



【平成19年4月から】

- ① 限度額適用認定の申請をする。
- ② 認定証が交付される。
- ③ 医療機関へ認定証の掲示、一定限度額約9万円の支払いをする。



70歳以上の方はすでに、上記の様に医療機関窓口への支払いは限度額までになっておりますが、今年の4月より70歳以下でも、事前に申請しておけば、入院費の支払いの時に、限度額のための支払いになります。

後から戻ってくるものでも、いったん支払いをしなければいけないというのは、かなりの負担になります。手術などで入院される時など、高額が予想できる場合は、ご利用されることをおすすめします。

手続きをしなくても、従来通りの方法で支給を受ける事ができます。

詳しくは、加入されている健康保険組合・社会保険事務所または市町村へお問い合わせ下さい。

保育室コーナー



当院の保育室には、0歳から幼稚園の子どもたちがいます。夏休みになると小学生も加わり、かなりにぎやかになります。

お父さん・お母さんがお仕事している間は、保育室で過ごしていますが、病気の時などはすぐに連絡が来て様子が分かり、子供たちを身近に感じられ、安心して仕事ができます。

散歩や行事などもたくさんあり、楽しく過ごしています。

時折、保育室よりプレイルームで遊ぶ子供たちの写真や、作ったものが廊下に掲示され、患者さんと職員の目を楽しませてくれます。

今回は、和紙の染物やしおり作り、ビンにシーガラスをくっつけた花瓶と・・・夏らしく子供たちの声が聞こえてくるようです。

保育室では、他に院内廊下の掲示物に折り紙などで季節の飾りつけをしたり、院外のプランターに花を植えて設置し、管理しています。

細やかな心使いが院内外を明るくしています。



お手軽レシピ

しょうがは少し多めでも美味！

オクラとワカメのしょうが醤油和え（4人分）

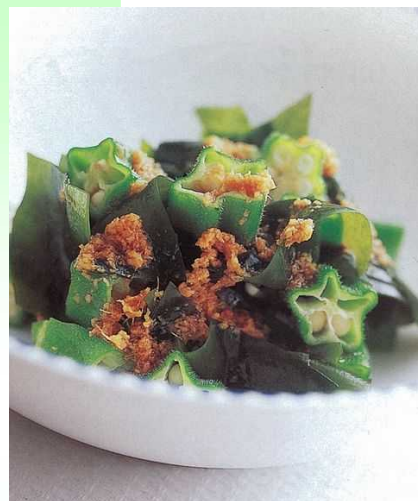
材料（4人分）

オクラ・・・8本(80g) ワカメ・・・もどして120g

A・おろししょうが・・・小さじ1 醤油・・・小さじ3 酢・・・小さじ1と1/3

作り方

- ①オクラはがくをぐりとむき除き、塩少量をふって板ずりする。沸騰湯でさっとゆで、冷水にとって水けを切り、小口から1cm幅に切る。
- ②ワカメは一口大に切る
- ③オクラとワカメを合わせて器に盛り、混ぜ合わせたAをかける。



1人分 15 Kcal

塩分 0.9g

西伊豆病院 栄養科



【関連施設 ～健育会グループ～】

土肥クリニック



土肥地区では、唯一入院施設を有しており、地域の開業医など医療機関と連携して地域医療の質の向上に努めています。

土肥クリニックの院長「登木口」は、西伊豆病院の月曜日・午後外来を担当しています。また西伊豆病院の医師が土肥クリニックで外来診療を行っており、院長「仲田」は火曜日・午後外来を担当し、泌尿器科医師「吉田」は水曜日・午後外来を担当し、内科医師「澤武」は第一第三土曜日の午前外来を担当しています。

介護老人保健施設 しおさい



地域の要介護高齢者の一日も早い家庭復帰と社会復帰を支援する施設です。在宅復帰へ向けたネットワークを構築し、最適の療養環境で最善のケア・リハビリテーションを提供。利用者の方々が心身ともにリフレッシュでき、楽しく有意義な生活が送れるよう支援します。

施設内行事も充実しており、毎月の「お誕生会」に、これからの季節ですと、9月には「敬老の日のイベント」10月には「秋の運動会」といっ行事を行う予定です。

ゆうあい訪問看護ステーション

訪問看護は、病気や障害をお持ちの方や高齢者が住み慣れた家で、安心して療養生活を送れるように支援する看護サービスです。看護行為は主治医の治療方針に沿って行われます。また、介護されているご家族に、さまざまな面からアドバイスや支援もいたしますので、安心してご利用いただいています。

【お知らせ】

7月より、皮膚科外来の予約制がスタートしました。

これにより、当院全ての診療科で予約が可能になりました。お電話による予約や予約時間の変更もできますので、是非ご利用下さい。

当院にお電話して頂ければ、予約担当におつなぎ致します。

お電話受付時間 月・火・木・金 午前9時から午後5時

水・土 午前9時から午後0時 52-2366(代)

クールビズについて

様々な職場で、地球温暖化の対策として行なわれているクールビズ。

環境省でもエネルギーの消費量を減らそうという試みで、冷房の温度を28度に設定し、28度でも快適に過ごせるようにネクタイをはずす等、軽装を推進しています。

当院も、普段のユニフォームから、ネクタイをはずしたり、清涼感のあるTシャツなどを着用したり、クールビズに努めています。

『 お元気ですか 第40号 』

平成19年8月 発行

発行

医療法人社団健育会 西伊豆病院 マーケティング委員会

〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科138-2 TEL 0558-52-2366

ホームページ

<http://www.nishiizu.gr.jp/index2.html>

